学校番号	303

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)世界史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「世界史探究」（実教出版）						
副教材等	「アカデミア世界史」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界史という学問をより深く理解するには、「地域」や「時代」といった区切りのみならず、さまざまな分野にわたって体系的な知識を身に着け、それにもとづく表現力を培う必要がある。
・現代社会に通じるグローバルな視点を身に着ける上では、近現代史の深い理解は必須であると考える。「今」に通じる世界の成り立ちを 20 世紀以降の歴史に着目し学ぶことが重要である。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
歴史上、設定した分野において、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、諸資料から様々な情報を調べまとめる技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
歴史上、設定した分野において、事象の意味や意義、特色などを相互の関連や現代社会とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、歴史にみられる課題を把握して解決に向けて構想したり、説明したり、議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
歴史上、設定した分野での学習を通じて、よりよい社会の実現を目指し、課題を主体的に探究して多面的な考察や理解をおこない、世界や我が国の歴史・文化を尊重することの大切さへの自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代史と現代の社会のつながりを理解しつつ、世界の歴史的過程とその生活・文化の地域的特徴についての知識を身につけ、理解できている。	自ら課題を見出し、近現代史を中心とする世界形成の歴史的過程と各地域の生活・文化の特色を多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正な判断を下し、その過程や結果を適切に表現できる。	歴史的・地理的事象に対する関心や課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する人間としての責務を果たそうと努力できる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第一次世界大戦	第一次世界大戦 ヴェルサイユ体制と国際協調 アジアのナショナリズムの台頭	a：1900～10年代の世界の構図についての理解を深め,第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 b：1900～10年代の世界の動向に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連，諸地域相互のつながりなどに着目し,主題を設定し,諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：1900～10 年代の世界について，課題を主体的に追究,解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解ができている	定期考査 プリント ワークシート	定期考査 プリント ワークシート レポート	ワークシート プリント レポート
	第二次世界大戦と戦後の国際秩序	世界恐慌とファシズム 満州事変と日中戦争 第二次世界大戦 戦後の変革と冷戦のはじまり	a：1920～40年代の世界情勢を構造的に理解している。第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序,冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に,第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。 b：1920年代から起こった諸事象の背景や原因，結果や影響，事象相互の関連などに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：1920 年～40 年代における諸地域の変容について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査 プリント ワークシート	定期考査 プリント ワークシート レポート	ワークシート プリント レポート

2学期	冷戦と現代世界	冷戦下の安全保障体制 脱植民地化と非同盟 冷戦の終結と現代世界	a: 1950年代以降の世界情勢について構造的に理解している。集団安全保障と冷戦の展開，アジア・アフリカ諸国の独立と地域連携の動き，平和共存と多極化の進展，冷戦の終結と地域紛争の頻発などの諸課題についての知識を体系的に身につけている。 b:1950 年代以降の世界で起こった事象の相互関連や，諸地域相互のつながりなどに着目し，主題を設定し，諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 1950年代以降に世界で行われた取組と課題について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を深める態度を培う。	定期考査 プリント ワークシート	定期考査 プリント ワークシート レポート	ワークシート プリント レポート
	古代の文化と生活	・古代オリエントの文化と生活 ・古代東アジアの文化と生活 ・古代インドの文化と生活 ・古代地中海世界の文化と生活 ・古代アメリカ文明の文化と生活	a:古代の諸地域に生きた人々の文化や宗教について、それぞれの特色や他地域との関連性、差異を深く理解し、体系的な知識を身につけている。 b:古代の各地域で興った文明について身に着けた知識をもとに、諸地域相互のつながりや差異について主題を設定し、諸資料を比較検討しつつ読み解き、多面的・多角的に考察・表現することができる。 c:世界の古代文明や宗教の成り立ちや現代との関連性について主体的な理解に努め、その上で、現代社会に生きる人間としての自覚を持つとともに、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査 プリント ワークシート	定期考査 プリント ワークシート レポート	ワークシート プリント レポート
3学期	中世・近世の文化と生活	・中世、近世ヨーロッパの文化と生活 ・中世、近世東アジアの文化と生活 ・中世、近世イスラーム世界の文化と生活 ・中世、近世のアメリカ大陸、アフリカ大陸の文化と生活	a:中世・近世の諸地域に生きた人々の文化や宗教について、それぞれの特色や他地域との関連性、差異を深く理解し、体系的な知識を身につけている。 b:中世・近世の各地域で栄えた文化について身に着けた知識をもとに、諸地域相互のつながりや差異について主題を設定し、諸資料を比較検討しつつ読み解き、多面的・多角的に考察・表現することができる。 c:中世・近世の世界で栄えた文化や宗教の発展などについて現代との関連性などを踏まえて主体的な理解に努め、その上で、現代社会に生きる人間としての自覚を持つとともに、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査 プリント ワークシート	定期考査 プリント ワークシート レポート	ワークシート プリント レポート

	近代の文化と生活	・近代ヨーロッパの文化と生活 ・近代東アジアの文化と生活 ・近代イスラーム世界の文化と生活 ・近代アメリカ大陸諸国家の文化と生活	a:近代の諸地域に生きた人々の文化や宗教について、それぞれの特色や他地域との関連性、差異を深く理解し、体系的な知識を身につけている。 b:近代に進歩を遂げた諸地域の文化について身に着けた知識をもとに、諸地域相互のつながりや差異について主題を設定し、諸資料を比較検討しつつ読み解き、多面的・多角的に考察・表現することができる。 c:近代世界の文化や宗教がもたらした諸問題について現代とのつながりを意識した主体的な理解に努め、その上で、現代社会に生きる人間としての自覚を持つとともに、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	定期考査 プリント ワークシート	定期考査 プリント ワークシート レポート	ワークシート プリント レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度